

**バックオフィス向けクラウドサービス「ジンジャー」
長谷川 博己さん主演のタクシー広告を開始
—「誰なんだ?! ジンジャー部長シリーズ」2022年1月10日(月)から開始—**

バックオフィス向けクラウドサービス「ジンジャー」を提供するjinjer株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役CEO:加藤賢)は、俳優の長谷川 博己さん、津田 寛治さん、手塚 真生さんが出演するタクシー広告「誰なんだ?! ジンジャー部長」シリーズを2022年1月10日から放映することをお知らせいたします。



■**タクシー広告ストーリー「誰なんだ?! ジンジャー部長」**

突然現れた謎の人物「ジンジャー部長」。煩雑で時間のかかっていたバックオフィス業務が次々と効率化されていく中で、その正体を知らない社員たちが一喜一憂する姿を[管理部のエリート部長]長谷川さん、[専務取締役]津田さん、[女性社員]手塚さんという配役でコミカルに演じてもらいました。

バックオフィスの課題である「勤怠管理業務」「契約締結業務」「経費精算業務」「労務管理業務」がバックオフィス向けクラウドサービス「ジンジャー」の導入によって次々と効率化がされていく中、社内は盛り上がる一方、長谷川さん演じるエリート部長は、自身の立場を脅かすジンジャー部長に翻弄されていきます。

■**YouTubeタクシー広告特設ページ**

タクシー広告の開始前に、ジンジャーのYouTubeチャンネル上で、「誰なんだ?! ジンジャー部長」シリーズ全4篇、ご確認いただけます。

▶ジンジャー公式YouTubeチャンネル

URL: https://www.youtube.com/playlist?list=PL5zoog2gd8pwkzxau_L982bV6-EeJD7M

■**「ジンジャー勤怠」篇**

会社の廊下で会話する専務役の津田さんと部長役の長谷川さん。専務は、突如現れて会社の勤怠管理業務を効率化させた、謎の「ジンジャー部長」は入社当時から目をかけている長谷川さん演じるエリート部長ではないかと声をかけるが、身に覚えのない部長はそこではじめて「ジンジャー部長」の存在を知る。



■「ジンジャーサイン」篇

食堂で1人昼食をとっているエリート部長役の長谷川さん。そこに女性社員役の手塚さんがやってきて、勤怠管理業務に続いて契約業務を効率化させた「謎のジンジャー部長」の正体は部長ですよね、と意味深に声をかける。再び現れた「ジンジャー部長」の影がエリート部長の心を揺さぶり始める。



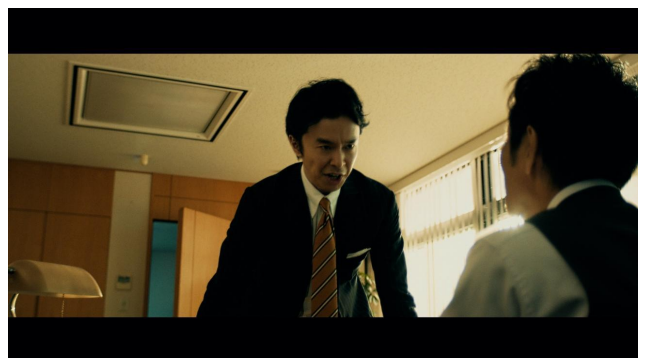
■「ジンジャー経費」篇

会社の重役が出席する重要な会議が始まる前の会議室に、津田さん演じる専務が嬉しそうに入ってきて、「謎のジンジャー部長」が社内の経費精算業務まで効率化させたことをみんなに伝える。それを聞いた重役の面々がジンジャーを称える中、エリート部長は心の中で叫ぶ。「誰なんだ?! ジンジャー部長!」



■「ジンジャー労務」篇

「謎のジンジャー部長」の正体が誰なのか?もう、居ても立ってもいられなくなったエリート部長はその正体を確認するために専務の部屋に乗り込んでいく。だが、専務は「正体は知らないけど、結果を出しているからいいんじゃないの」と真剣に取り合ってくれない。そこに女性社員が飛び込んできて、なんと「ジンジャー部長」が「労務管理業務」まで効率化させたことを伝える。専務と女性社員は何故がジンジャーエールで乾杯をはじめて上機嫌。エリート部長はもうほとんど訳がわからず心の中で叫ぶ。「もう、誰なんだよ?! ジンジャー部長!」



■タクシー広告概要

- ・サービス:バックオフィス効率化クラウドサービス「ジンジャー」
- ・タイトル:「ジンジャー勤怠」篇、「ジンジャーサイン」篇、「ジンジャー経費」篇、「ジンジャー労務」篇
- ・放映開始:2022年1月10日(月)～
- ・放映エリア:東京、神奈川、埼玉、千葉、名古屋、京都、大阪、神戸、広島、福岡、仙台、札幌

■出演者プロフィール

長谷川 博己(俳優)



所属:ヒラタオフィス
出身:東京都
生年月日:1977年3月7日

2011年「鈴木先生」でドラマ初主演。その後も「家政婦のミタ」「雲の階段」「八重の桜」「小さな巨人」「まんぷく」をはじめ多くの作品に出演。映画「シン・ゴジラ」にて第40回日本アカデミー賞・優秀主演男優賞を受賞。2017年、映画「散歩する侵略者」にてカンヌ国際映画祭初登壇。2020年NHK大河ドラマ「麒麟がくる」では主人公・明智光秀役を熱演した。

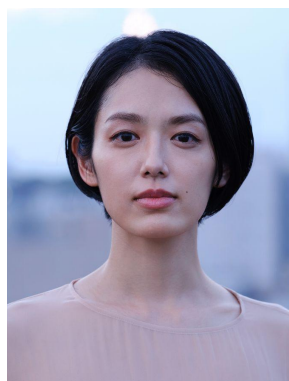
津田 寛治(俳優)



所属:ラ・セツテ
出身:福井県
生年月日:1965年8月27日

1993年「ソナチネ」で映画デビュー。その後は映画を中心に活動を続け、2002年「模倣犯」「劇場版 仮面ライダー龍騎 EPISODE FINAL」で第45回ブルーリボン賞を受賞。2021年「山中静夫氏の尊厳死」で第30回日本映画批評家大賞 主演男優賞を受賞。同年、第74回カンヌ国際映画祭ある視点部門オープニング上映作品「ONODA 一万夜を越えて」では主演を務めた。

手塚 真生(女優)



所属:Andmo
出身:東京都
生年月日:1990年8月10日

2009年モデルデビュー後、2012年に女優業を開始。2014年「渇き。」で映画デビュー。2021年にはNHK大河ドラマ「青天を衝け」に栄一の従兄 惇忠の妻・尾高きせ役で出演。2022年も多数の出演作が控えている。趣味は万年筆を愛で、ひたすら文字を綴ること。

■2022年1月10日から、サービス表記を変更します

サービス名をこれまでの「jinjer」から、カタカナ表記の「ジンジャー」へ変更します。「ジンジャー」は、今までもシリーズ累計登録社数15,000社ものユーザーに利用実績のあるサービスです。今後、事業のさらなる拡大を視野に入れ、サービス名の認知度を向上させるために、表記変更をおこなうことになりました。

■バックオフィス向けクラウドサービス「ジンジャー」とは

「ジンジャー」は、人事労務・勤怠管理・給与計算・ワークフロー・経費精算・請求書・電子契約・Web会議など、バックオフィス業務の効率化を支援するクラウドサービスです。バックオフィスに関わるすべてのデータを「ジンジャー」に集約し、「1つのデータベース」で管理することで、各サービスにおける情報登録や変更の手間を削減します。
(「ジンジャー」公式サービスサイト:<https://hcm-jinjer.com>)

■会社概要

会社名 :jinjer株式会社
所在地 :東京都新宿区西新宿1-22-2 新宿サンエービル
代表者 :代表取締役CEO 加藤 賢
URL :<https://jinjer.co.jp/>

【本件についての報道関係のお問い合わせ先】
jinjer株式会社 PR事務局 (E-mail: pr@jinjer.co.jp)